

☆☆☆ 手にとってみましょう☆☆☆

先日、各クラスの図書委員（一部代理）が参加して、丸善広島店にてブックハンティングが行われました。ネットで本を購入することが当たり前となった時代に、わざわざ広島市の本屋さんまで何で出かけていったのか不思議に思いませんか？ さらに、タブレットやスマートフォンで電子ブックを使ったことのある人は、紙の書籍自体が古臭いと感じるかもしれません。確かに、簡単に検索でき、重たい本を持ち歩く必要がない便利な時代となったものですが、本屋さんや図書館での偶然の出会いであったり、持ち上げたときのずっしり感は、本の内容だけでなく、「出会い」という体験として残ります。私は小学生の時に児童図書館で出会ったムーミンシリーズは、わくわくしながらも小学生には重く、1冊ずつ借りて帰るのがやっとだったことを思い出します。また重さだけでなく、装丁や挿絵、新刊であれば工夫を凝らした帯など、手にとって楽しむ余裕が皆さんのところに潤いをあたえるかもしれません。



☆☆☆ 学科からの推薦図書紹介（推薦図書コーナーにあります）☆☆☆

商船学科

書籍名：「モーター、マジわからん」と思ったときに読む本（オーム社）

紹介文：日本の電気の6割はモーターが使ってる？ ブラシがあると寿命が短くなる？ ACとDCってどう違うの？ パソコンが動くのはモーターのおかげ？ パワエレの登場でどう変わったの？ 三相交流ってどういうしくみ？ 超超超わかりやすいから読む手が止まらない！ モーターのプロが書いた渾身の一冊！（オーム社紹介文より）



電子機械工学科

書籍名：よくわかる組込みシステム開発入門：要素技術から開発プロセスまで（技術評論社）

紹介文：組込みシステムは、単なるプログラミングだけでなく、センサやアクチュエータ、通信・無線技術などのハードウェアや、さまざまなアルゴリズムやプロトコルなど設計レベルの技術が必要とされます。この本では入門レベルから資格試験合格までを目指します。

情報工学科

書籍名：イラストで学ぶ 世界を変えたコンピュータの歴史（創元社）

紹介文：あなたがいつも使っているパソコンやスマートフォン、インターネットやゲームのアプリはどのように登場したのでしょうか？世界を変えたコンピュータとそれを作った人々の物語をひもといてみましょう！（創元社紹介文より）



一般科目

書籍名：ことばのバリアフリー：情報保障とコミュニケーションの障害学（生活書院）

紹介文：本書は、「障害は社会が創り出すものであり、言語そのものが社会的障壁（障害）である」という障害学的社会言語学の考え方にもとづき、「ことば」や「コミュニケーション」のありかたを問いなおすものです。

図書館では、学生保護者をはじめ一般の方への貸し出しも行っています。詳しくは図書館カウンターまで